

E70 伊豆縦貫自動車道 河津下田道路(Ⅱ期)

河津七滝IC～河津逆川IC

令和5年3月19日 日 15時 **開通**

伊豆半島
新しい道
ができます。



E70 伊豆縦貫自動車道 河津下田道路(Ⅱ期) 河津七滝IC ~ 河津逆川IC

開通による4つの効果

効果01
観光

地域活性化の支援

伊豆地域は多くの観光資源を有しており、年間約4,000万人の観光客が訪れます。

今回の開通により、下田方面への所要時間が短縮するなど、伊豆地域の観光活性化を支援します。

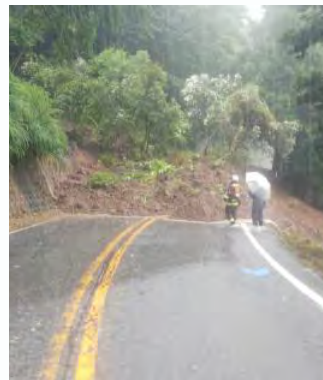


効果02
防災

防災機能強化

近年の台風や大雨により、沿岸部の国道135号や内陸部の国道414号では法面崩壊等による通行止めが発生しています。

今回の開通により、災害時の緊急輸送道路として迅速な活動を支援します。



効果03
医療

救命率の向上

国道414号は幅員が狭く、急カーブ等があるため、河津町から搬送する際は国道135号を使用していますが、夏季観光期は混雑します。

今回の開通により搬送時間が短縮し、30分以内に搬送可能な圏域が拡大することで、救命率の向上が期待されます。



第二次救急医療施設への搬送時間30分圏域が拡大

【下田メディカルセンター】 【伊豆今井浜病院】

整備前 約230km² 整備後 約270km² (約1.2倍)

整備前 約240km² 整備後 約270km² (約1.1倍)

整備前:平成27年全国道路街路交通情勢調査より算出
整備後:河津下田道路(Ⅱ期)を設計速度(80km/h)として算出

効果04
交通

交通の円滑化

国道414号の一部区間は幅員が狭く、急カーブが連続しており、また、夏季は大型車の通行規制区間があり、大幅な迂回が必要です。

今回の開通により、国道414号の夏季通行規制区間を回避可能となり、また所要時間が約13分短縮します。



所要時間13分短縮
(35分⇒22分)

整備前:ETC2.0プローブ情報 R4.8休日平均の最大所要時間(10台) 町道(30km/h)を用いて算出
整備後:ETC2.0プローブ情報 R4.8休日平均(10台) 河津下田道路の開通予定区間のみ設計速度(80km/h)として算出

※IC名称は仮称

